

## 仕様書

### 1. 件名

平成 22 年度インターネットチケット販売システムの改修

### 2. 目的

独立行政法人日本芸術文化振興会（以下、「振興会」という）では、インターネットチケット販売システム（以下、「本システム」という）によりウェブページ（以下、「チケットセンターHP」という）からインターネットを利用したチケットの販売を行っている。またチケット販売・管理業務全体についてはチケット管理システム（以下、「管理システム」という）により行っている。

本件では本システムについて、チケットセンターHP の利便性の向上、自動発券機に於けるクレジットカード取り忘れ機能の追加等の改修を行うことにより、利用者の満足度を向上させ、チケットの売り上げに寄与することを図る。

また、チケットセンターHP での利用者のアクセス状況、操作状況等を調査し、販売方法の検討等を行う際に資料として活用するため、アクセス分析を行う。

### 3. 用語の定義

| 用語 | 定義                                                |
|----|---------------------------------------------------|
| 納品 | 受注者による納入物の搬入・設置・動作確認等の作業が終了し、振興会の検収のために引き渡しができる状態 |
| 導入 | 搬入から納品までの作業                                       |
| 納入 | 振興会による検収が終了し実利用可能な状態                              |

### 4. 作業の概要

本作業は、本仕様書に基づき本システムの基本設計、詳細設計、プログラム開発、システムテスト、ドキュメント作成ならびに Web ページのコンテンツ作成を行い、開発したプログラム及びコンテンツを振興会の運用環境に反映する。また、チケットセンターHP についてアクセスログを取得し、アクセス解析を行う。

### 5. 納入物

| 項番 | 項目                                          | 納入数    |     |
|----|---------------------------------------------|--------|-----|
| ①  | 変更仕様書（既存仕様書の変更）（概要設計書、詳細設計書、プログラム設計書、運用仕様書） | 印刷物    | 1 部 |
|    |                                             | CD-ROM | 1 部 |
| ②  | 取扱説明書（既存マニュアルの変更）                           | 印刷物    | 1 部 |
|    |                                             | CD-ROM | 1 部 |
| ③  | アクセス分析結果報告書                                 | 印刷物    | 1 部 |
|    |                                             | CD-ROM | 1 部 |
| ④  | 開発スケジュール                                    | 印刷物    | 1 部 |
|    |                                             | CD-ROM | 1 部 |

|   |                |        |     |
|---|----------------|--------|-----|
| ⑤ | 作業予定表及び作業実施報告書 | 印刷物    | 1 部 |
|   |                | CD-ROM | 1 部 |
| ⑥ | テスト仕様書         | 印刷物    | 1 部 |
|   |                | CD-ROM | 1 部 |
| ⑦ | テスト結果報告書       | 印刷物    | 1 部 |
| ⑧ | 業務完了報告書        | 印刷物    | 1 部 |
| ⑨ | プログラム          | CD-ROM | 1 部 |

注：・CD-ROM（⑨を除く）での納入物については、振興会で導入している Microsoft Office Professional 2007 で表示、印刷、修正が可能であること。

- ・⑨は、ソースプログラム、実行形式プログラム、利用環境等を定義するファイル、コンテンツを含めること。また、振興会の指定するハードディスク及び CD-ROM 等に格納すること。
- ・全ての納入物について、専門的な知識や技術を極力必要とせずに理解できる内容とすること。

## 6. 納入場所

東京都千代田区隼町 4-1 独立行政法人日本芸術文化振興会

## 7. 納入期限

平成 23 年 2 月 25 日（金）

※ 8.（5）については平成 22 年 12 月 19 日（月）に振興会が指定する機器（1～2 台）に納品し、振興会の検収後、全ての機器（全 7 台）に納入すること。

※振興会による検収期間が必要なため、納入期限の 3 営業日以上前に納品（以下、「納品日」という。）すること。

## 8. 開発内容

### （1）会員登録時の登録済通知機能追加

チケットセンターHP の NTJ メンバー登録画面（NTJ メンバー）及び会員認証画面（あぜくら会会員、文楽友の会会員）で会員登録済みであることを通知する機能を追加する。画面等は別紙 1 を参照すること。

- ・チケットセンターHP の会員登録画面において振興会が運営するインターネット会員組織（NTJ メンバー）に登録を済ませている利用者が、再度登録しようとした場合、メールアドレスによる判別で、登録済であることを通知するメッセージをチケットセンターHP の画面に表示する機能を有すること。
- ・インターネットチケット販売システムの認証を済ませている会員組織（あぜくら会、文楽友の会）の会員が、再度認証しようとした場合、会員番号による判別で、登録済であることを通知するメッセージをチケットセンターHP の画面に表示する機能を有すること。
- ・画面に表示するメッセージ等に関する資料は別途振興会より提供する。

## (2) Web 決済利用不可時の選択肢非表示機能追加

決済・受取方法選択画面でメンテナンス等により一時的に利用できない決済方法・受取方法を選択できないよう設定する機能を追加する。画面等は別紙 2 を参照すること。

- ・決済方法・受取方法の組み合わせ毎に、選択不可とする期間を 10 分単位で設定する機能を有すること。期間の設定は 1 決済方法・受取方法につき、2 件以上登録する機能を有すること。また設定した内容を任意に変更する機能を有すること。
- ・決済方法、受取方法の選択不可の設定は、販売中の公演全体に対して一括で行う機能を有すること。
- ・選択不可の設定が行われた決済方法・受取方法は、チケットセンターHP の決済・受取方法選択画面において選択ボタンを表示させない機能を有すること。

## (3) 販売画面への販売状況表示機能追加

WEB ページ「販売状況表示画面」と「空席状況表示画面」を作成すること。表示画面には、以下の機能を備えること。

- ・販売状況表示画面はチケットセンターHP で公開されている全公演の取扱状況を一覧表示する機能を有すること。表示項目は「地域（東京、大阪）」、「劇場名」、「公演名」、「公演期間」、「取扱状況」とする。またチケットセンターHP 利用者の操作により「地域」でソートする機能を有すること。
- ・取扱状況は「販売中」、「販売開始前」、「会員先行販売期間中」を区分し、販売開始前の場合は発売日を表示する機能を有すること。また、インターネット販売分の残席が無い場合は、空席がない旨を表示する機能を有すること。
- ・販売中の公演については販売状況表示画面からチケットセンターHP 利用者が選択した公演の空席状況表示画面へ遷移する機能を有すること。
- ・空席状況表示画面では、「地域（東京、大阪）」、「劇場名」、「公演名」、「演目」を表示し、空席状況として○（残席有）△（残席僅少）×（残席無し）をステージ毎に（開演時間毎）、座席等級別に表示する機能を有すること。○、△、×の表示の基準となる値は劇場毎に設定する機能を有すること。

※演目：公演で上演される演劇等の題名

※ステージ：1 日の公演は 1～複数の部によって構成され、1 つの部をステージという。

- ・空席状況表示画面に長期公演中の休演日は休演であることを明示すること。
- ・空席状況表示画面から本システムの公演詳細ページに遷移する機能を有すること。また本システムの公演詳細ページから空席状況表示画面に遷移する機能を有すること。
- ・チケットセンターHP のトップページ（静的トップページ、公演検索トップページ）から販売状況表示画面に遷移する機能を有すること。
- ・英語のチケットセンターHP も上記機能を有すること。また文言は日本語ページの英訳とし、英訳についても本調達の範囲で行うこと。

#### (4) 公演毎の販売優先順位設定機能追加

チケット予約時に割り当てられる座席の優先順位は劇場（6 種類）毎に 1 種類が設定されているが、各劇場の座席表毎に座席の優先順位を設定する。各劇場の座席表は別紙 3 を参照すること。座席選択の優先順位はブロック（同程度の優先順位の座席の集合）毎及びブロック内の座席毎に設定されている。

- ・各劇場の座席表に優先順位のパターンを 1 つ設定すること。
- ・設定されている優先順位を変更する機能を有すること。変更はブロックの優先順位、ブロック内の座席の優先順位それぞれで行う機能を有すること。なお変更した優先順位はその公演にのみ反映させること。
- ・座席のブロック分けについては現行の機能で設定されている通りとする。

#### (5) 入場券発券機におけるクレジットカード取り忘れ防止機能

国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場に設置された入場券発券機について、発券の際、利用者が発券機に挿入するクレジットカードの取り忘れを防止する機能を追加する。

- ・クレジットカードを排出する際に自動発券機の画面にクレジットカードを取るよう促すメッセージを表示し、警告音を鳴らす機能を有すること。利用者がクレジットカードを抜いた後、警告音を停止し、チケットを出力する機能を有すること。また自動発券機の画面にはチケットを発券中とのメッセージを表示する機能を有すること。

#### (6) チケットプリンター発券対応

本システムから営業課等に設置されているチケットプリンター（AI ソリューションズ社製 TP4030 11 台）を使用してチケットを印刷する機能を追加する。画面等は別紙 4 を参照すること。

- ・チケットプリンター（TP4030）を利用して、窓口発券機能からチケットを印刷する機能を有すること。
- ・印刷するチケット券面の表示は窓口発券機能で印刷されるチケットと同様とする。
- ・窓口発券画面で印刷を行うプリンターを各端末機器に設定されているプリンターから選択する機能を有すること。

#### (7) アクセス分析

チケットセンターHP (<http://ticket.ntj.jac.go.jp/>及び <https://ticket1.ntj.jac.go.jp/>以下に属する全ての Web ページ) へのアクセスについて、一定期間のデータをもって分析すること。分析対象の期間は 3 ヶ月とする。分析内容は以下の通りとする。

- ①時間別集計：月、週、日別や時間帯別に訪問者数、ビュー数を集計
- ②入口・出口ページ別集計：入口、出口になったページ毎に訪問者数、ビュー数を集計
- ③コンテンツ別集計：通過したコンテンツ毎に訪問者数、ビュー数を集計

- ④流入タイプ別集計：自然検索、流入元サイト、直接流入等の流入タイプ毎に流入状況を集計
- ⑤ユーザー分類別集計：新規、リピートユーザー等に分類したユーザー毎に訪問者数、ビュー数を集計
- ⑥検索エンジン詳細集計：検索エンジンからの流入状況をエンジンやキーワード毎に集計
- ⑦キーワード別集計：任意の検索キーワード毎の流入状況を確認。
- ⑧経路分析：サイト内の閲覧経路を確認。
- ⑨OS、ブラウザ集計：利用者の OS、ブラウザの利用状況を集計
  - ・②～⑧について①の集計を行うこと。
  - ・②、③について、ビュー時間の平均時間の長さを分析すること。ただし当該ページのみが閲覧されたか、訪問の最後に閲覧した場合は、平均に加えなくともよい。
  - ・集計結果が数量の場合は順位付けを行い、上位から表示すること。⑧については導線が分かるよう図を用いて結果を報告すること。結果報告の形式が前記にそぐわない場合は振興会と協議の上、報告の形式を決定すること。
  - ・振興会が指定する IP アドレスまたはドメイン名を集計対象から外すこと。

## 9. システム稼働・開発環境及び規模・性能要件

本システムの稼働・開発環境（全体構成・機器構成等）及び規模・性能要件は別紙 5 - 1 ～ 3 のとおりである。

## 10. 性能・信頼性等要件

本件による改修機能について以下の性能及び信頼性を確保すること。

### （1）性能要件

- ・本件により作成、改修された機能のレスポンス時間の目標値は平常時 3 秒以内、ピーク時 5 秒以内とする。また、既存機能の性能劣化を起こさないこと。

### （2）信頼性

- ・障害に伴うシステム停止は年 1 回以内とすること。
- ・環境設定変更が必要となる場合、その作業は全て受注者の責任範囲とする。
- ・障害復旧の際、復旧はすべてバックアップデータのリストアで対応できること。
- ・システム内の機能や取扱データは、その機能やデータの利用権限を持つユーザーのみが利用可能であること。
- ・本システムについて、「独立行政法人日本芸術文化振興会情報セキュリティポリシー」に基づく秘密保持を実現する設計及び開発をすること。また、サーバー上のデータ、システム等がシステム利用者の過失等により失われることのないよう、例えば、CGI プログラム（Web インターフェイスという前提）等に保護機能を設けるなどして、セキュリティに十分配慮したシステムを構築すること。

### （3）上位互換性

- ・OS、ミドルウェア等のベンダーからバージョンアップ版又は情報が既に提供されている

場合には、それにも対応できるように開発すること。

なお、技術的な問題等がある場合には、対応の可否について振興会と協議し、その指示に従うこと。

(4) アクセシビリティ・ユーザビリティ

- ・アクセシビリティを確保するために、「JIS X 8341-3:2010」に従うこと。なお、技術的な問題、表現上の問題等がある場合には、対応の可否について振興会と協議し、その指示に従うこと。
- ・WEB ページ作成にあたってはユーザビリティに配慮すること。

1 1. 作業の体制及び方法

(1) 作業体制

① 体制

受注者は、本作業を履行できる体制を設けると共に、作業に先立ち以下の事項について提出し、振興会の了承を得ること。なお、原則として体制の変更は認めず、やむを得ず変更する場合は事前に振興会の了承を得ること。

- ・受注者側の体制（作業を総括する主要担当者を1名以上置くこと）
- ・受注者側の責任者
- ・連絡体制（受注者側の対応窓口）

② 主要担当者

- ・Web コンテンツ作成の実績を有すること。
- ・Web システム開発の実績を有すること。
- ・アクセス分析の実績を有すること。

③ 特記事項

- ・「独立行政法人日本芸術文化振興会情報セキュリティポリシー」に則って作業を行うこと。
- ・振興会内での作業では、振興会の服務規定を遵守すること。

(2) 開発方法

① 開発工程

- ・受注者は、作業に先立ち開発スケジュールを書面で提出し、振興会の了承を得ること。
- ・やむを得ず開発スケジュールを変更する場合は、事前に協議すること。
- ・受注者はテストに先立ち「テスト仕様書」を提出し、振興会の了承を得ること。なお、テスト仕様書には、個別機能テストフェーズ、システム・テストフェーズ、実環境テストフェーズごとにテスト項目、テスト環境、テスト・シナリオをスケジュール表とともに明示すること。

② 納品ドキュメント

- ・納品ドキュメントについては、既存仕様書等の構成や記載項目、記載内容及び記載水準等に合わせることを。
- ・納品ドキュメントの内容について、振興会のレビューを受けること。

- ・テスト仕様書に基づき行ったテストの結果を報告すること。

#### ③進捗管理方法

- ・原則として週 1 回、振興会に対して進捗報告をすること。
- ・進捗報告には、開発スケジュールと実際の進捗状況の差を明らかにし、その原因と対策を明らかにすること。
- ・振興会内での作業に当たっては振興会の指示に従うものとし、作業終了後は報告書を提出するものとする。

#### ④開発環境

- ・開発・テスト環境は、受注者において手配すること。
- ・最終的な総合システムテスト及び動作確認の環境は、実際に本システムの運用で使用する機器及びソフトウェアとすること。

### (3) 導入

- ・開発したシステムは、「9. システム稼動・開発環境及び規模・性能要件」で示した運用環境で利用することが可能となるように、導入作業を実施すること。
- ・作業に先立ち、本システムのサーバー等環境全体について調査を行い、本作業により振興会の既存システムに影響を与えないこと。
- ・作業に当たっての詳細なスケジュールについては、振興会と事前に協議した上で、あらかじめ作業予定表を提出し、これに従うこと。作業に伴う本システムの停止期間等、業務への影響は最小限とすること。
- ・導入時に、振興会の環境で最終的な総合システムテスト及び動作確認（本仕様の改修内容及び既存機能が改修内容適応後も正常に動作することの確認、以下「最終テスト」）を実施すること。問題が発見された際は、納入日までに対処すること。
- ・最終テストにあたっては、あらかじめテスト仕様書を提出し、これに従うこと。また、その結果を報告書として提出すること。
- ・最終テストに使用した一時ファイル等の不要なファイル等は、最終テスト終了後、削除すること。
- ・最終テストのテスト結果報告書に対する指摘があった場合には、受注者は振興会の指示に従い、適切な処置を施すこと。
- ・導入終了時には、ハードウェア上において導入機能を含めた本システムが稼動するための環境構築、システム運用に必要な設定等、実運用に必要な全ての作業が完了していること。
- ・導入終了後速やかに詳細な作業実施報告書を提出すること。また、報告書の内容について、振興会のレビューを受けること。

### (4) 瑕疵責任

- ・納入日から起算して 1 年以内に納入物品或いは作業が本仕様書の規定或いは本仕様書に基づく協議結果に適合しないことが判明したときは、受注者は、受注者の負担で、これ

を適合するように迅速に補修等を行うこと。

- 補修等は、原則として 24 時間以内に行うこと。
- 補修等を行った際は、文書にて振興会に報告を行うこと。

## 12. その他

- 本調達に係る経費は見込まれる全ての事項を見込むこと。
- 作業に際して発生した不明な点は、振興会の指示に従うこと。
- 受注者は、本契約の実施に伴い知り得た振興会に関する事項に関し、許可なく他に開示しない。本契約終了後も同様とする。
- 本件により作成、納入されたドキュメント及びプログラム等の全ての著作権（著作権法第 27 条、同第 28 条に定める権利を含む）を振興会に譲渡すること。また著作者人格権を行使しないこと。